

ごあいさつ

ようこそ、沖縄県立森川特別支援学校ホームページへアクセスしていただき、ありがとうございます。

第20代校長の、呉屋 光広（ごや みつひろ）です。どうぞ、よろしくお願い致します。

昭和59年に開校し42年の歴史のある本校の現在の取り組んでいる教育活動について、情報発信をしていきます。

本校は、病弱・身体虚弱教育の特別支援学校で、昭和59年に隣接する独立行政法人国立病院機構沖縄病院に入院する小・中学生の学びの場としてスタートしました。医療機関・家庭・関係機関等と密な連携のもと、児童生徒の心身の調和的発達を促し、力強くたくましく生きる意思や態度を養い、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加出来る児童生徒の育成を目指しております。

平成元年度に高等部を設置、平成10年度に通学生の受け入れを開始、そして、平成26年度に心身症等の児童生徒の受け入れを開始するなど、時代とともに変遷してきた教育ニーズに応じて、歩みを進めてきました。

本校での通学生を対象とした学習活動と並び、県内8病院（県立北部病院・県立中部病院・中頭病院・琉球大学附属病院・那覇市立病院・こども医療センター・沖縄赤十字病院・沖縄協同病院）に病院内学級を開設し、"療養しながら学ぶ場"として、入院している児童生徒の学習保障にも努めています。

校訓：「明るく元気で ねばり強く 思いやりのある 児童生徒」

○よりよい自分を目指そうとする、心の明るさ元気さ

○目の前のやるべきことに向かっていける強さ

○人と関わろうとする意欲、関わる力

を掲げ、職員が一丸となって児童生徒の成長を、保護者とともに喜びにつなげられるよう努めてまいります。

校庭に色とりどりの花が咲きほころび、若葉が芽吹きはじめた4月7日には、就任式、始業式、入学式を行い、令和8年度をスタートすることができました。

教職員が、子どもたち、保護者の皆様をはじめ、本校教育を支えてくださる全ての方々との「出会い」に感謝し、本校児童生徒の自立と社会参加・社会貢献に向け、個々の教育的ニーズに応じた最善の学校生活づくりに、誠心誠意取り組んでまいります。感染症対策を図りながら「より良い教育、より良い学校」目指していきたいと考えております。これまで以上のお力添えをお願い申し上げます。

令和8年4月吉日

沖縄県立森川特別支援学校

校長 呉屋 光広